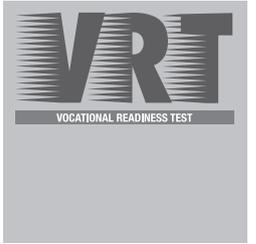




# 職業レディネス・テスト



テストでわかること

職業興味  
職務遂行の自信度  
基礎的志向性

検査日: 2019年9月18日

普通 1年 3組 7番 雇用 美咲

## 日常生活での興味のタイプ

あなたのふだんの行動や  
気持ちから見た興味の方向  
(B検査)

タイプ	得点	←弱い	0	10	20	30	40	50	60	70	80	85	90	強い→	100
Data 情報、データ 活動	62	[Bar chart showing score 62]													
People 人に関わる活動	37	[Bar chart showing score 37]													
Thing 道具などの 活動	96	[Bar chart showing score 96]													

日常生活での行動や気持ちから見た興味の方向を情報、人、物の3タイプに分類、得点が棒グラフにより表示される。

## 詳しくみてみよう

興味のタイプ	興味の内容	←弱い	0	1	2	3	(○の数)	4	5	6	7	8	強い→
情報を集める	たくさんの情報を集めたい	[Bar chart showing score 4]											
好奇心を満たす	世の中や社会のしきみを知りたい	[Bar chart showing score 2]											
情報を活用する	集めた情報をきちんと整理し、順序立てて管理し、有効に活用したい	[Bar chart showing score 6]											
自分を表現する	人前できちんと意見を述べ、自己表現を行いたい	[Bar chart showing score 6]											
人と一緒に行動する	一人で過ごすよりたくさんの人と一緒に行動したい	[Bar chart showing score 4]											
人の役にたつ	人の援助をしたり、人の役にたちたい	[Bar chart showing score 4]											
物をつくる	道具や機械を使うような物づくりをしたい	[Bar chart showing score 8]											
自然に親しむ	自然の環境の中で、動植物を観察したり身体を動かしたい	[Bar chart showing score 6]											

情報、人、物の3タイプのさらに細かい内容の特徴を把握できる。

## 興味と関係の深い職業例・進路

タイプ	興味と関係の深い職業例・進路
情報に関わる仕事	自動車組立工、建築大工、旋盤工、パティシエ◆ー
物に関わる仕事	機械技術者、建築士、システムエンジニア、プログラマー◆理系 臨床検査技師◆保健医療系 自動車整備工、マンガ家◆ー
人に関わる仕事	ゲームクリエイター、服飾デザイナー◆デザイン系 運転手(士)、消防士、美容師◆ー

一般社団法人 雇用問題研究会

興味が最も強いタイプと関係の深い職業例を記載。別紙「職業一覧表」と併せ、職業の世界を知ることにつながる。

# パーソナリティ・タイプを 手がかりに職業を探る

自分がどんな職業に興味を持ち、どのような職業分野ならやっていく自信があるかなどについて、ホランドの職業選択理論に基づくパーソナリティ・タイプの六角形で示し、「職業と自分」について考える材料を提供する職業レディネス・テスト(VRT)。高校1年の女子生徒の事例で、どのように活用されるのかをみてみます。

日常生活での興味のタイプでは、①物(機械や道具などの物を扱う活動)②情報(知識や情報、データに関わる活動)③人(人と直接関わる活動)の順に興味が強。くわしく見てみると、特に「物をつくりたい」という気持ちが強く表れている。



# 趣味のケーキ作りから 自分について考えてみる

秋の面談での話

私立高校普通科1年生  
女子

美咲さん(仮名)

## ●いつかは就職するのだから

自分が就職するということを今はあまりリアルにイメージできないし、正直まだピンと来ない。でも、いずれ働かなくてはいけないのだし、それで生きていくことになるのだとしたら、やはり自分に合った仕事をしたという気持ちはある。

3年前に父が病死してからは、母と弟と私の三人暮らし。母は結婚前からの仕事である看護師をしながら家事もこなしている。高校入学後は、私もできるだけ家のことをするようになった。始めは何か部活動をやるかどうか迷っていたけど、中途半端にしかできないだろうと思って結局入らなかった。

でも、料理部とかお菓子研究会なんかがあったら入ったかもしれない。料理したりお菓子を作ったりするのが好きなんだ。趣味なんだろうね。楽しんで料理していれば、自分ちの食事の用意と一石二鳥だし。嫌々やっていると苦役っぽい仕事になるけど、私は苦にならないからラッキーだった。

家事もしかたなくやっているとツライよね。私も掃除は嫌いだから。こないだなんかおばあちゃんが来て、かなり念入りに掃除してくれていった。たまに寄ったと言ったのは、あれはホントは掃除しに来たんだ、きつと。

就職すると思ったら、それと同じだと思うんだ。面白くないけど、毎日しようがないからやる、っていうよりは、少しでも楽しい気分でできるほうが

いでしょ？

## ●近所の洋菓子店

もともと美味しいものを食べるのは好き。グルメってわけじゃないけど。だいたい高いお金払って美味しいのは当たり前じゃないですか。テレビなんかで見るとさあ。まあ、うちの場合が高い金払えないけどね。自分である程度まで美味しいものを作ることは可能なんだということに気づいた時は、結構嬉しい驚きだった。うちの母が過剰に褒めるからかな。

小学生の頃から、母が近所にあるお菓子屋さんのショートケーキを買ってきてくれてよく食べて、それが好きでね。だんだん他の店のいろんなお菓子も口にする機会が増えてくるようになって、やっぱりそこが一番美味しいと思った。

もつといういろいろ食べ比べてみれば、上には上があるんだろうけど。今は休みの日にあちこちの店に足を運んで、各種のケーキを買ってみている。味やデコレーションに店の個性が出るので、それぞれの特徴の違いを感じられて面白い。

## ●ケーキ作りにはまる

自分で作るようになったのは、中学に入ってから。最初はあの店のケーキにどれだけ近づけるかやってみたかった、というのが動機。土台のスポンジ生地をうまい具合にふんわり焼き上げるのと、イメージどおり綺麗にデコレーションできるかがポイントだけ

ど、ちょっとした工夫を思いついたらすぐ試してみたくなるんだよね。新しい店で見つけた珍しいケーキなんかにも刺激受けたりする。

母はいつも、すごく美味しいと言って食べてくれる。弟もわりと楽しみにしているふう。近頃は夕食も私が作ることもあるけど、なかなか好評を得ていると自分では思っている。

## ●VRTを受けてみて

職業レディネス・テストは、世の中にはいろいろな仕事がありそうだなと思えて、なかなか興味深かった。

RとAとIが高いという結果が出て、自分でもなるほどと思った。「物」とか「何かを作る」ことに対するこだわりというのは、やっぱりあるような気がするし。

自分自身、何が好きかとか得意かとかいうのを手がかりにして仕事を決めるというか、将来の方向を探っていく、というのが望ましいのかなと漠然とだけ感じた。そういうものと世の中の職業、仕事がどう結びついているかとか、社会で働いている人はそれぞれ実際に何をしているのかという部分とか、私が知らないことはまだまだたくさんあると思った。

母の仕事についても、一般的な看護師というイメージや大変そうという印象だけで、内容についてはほとんど知らないの、今度話を聞いてみようと思う。中学で職場体験というのがあったけど、もう少し実際の仕事をリアルに感じられるものがあつたらいい。

担任教師から

●VRTはどんなテストか

興味・関心というのは、人それぞれの個性を反映し、表すものであり、価値観、態度などとともに、パーソナリティを形成する要素の一つであると言われている。どんな仕事に興味を持ち、何の職業を選択するかは、その人のパーソナリティと深い関係がある。

アメリカの心理学者ジョン・L・ホランドは、そうした考え方に基づき、パーソナリティタイプをR・I・A・S・E・Cという6類型に分類し、人が働く環境にもその6類型のモデルがあるとした。

「同じ職業環境にいる人々は共通するパーソナリティを持つ傾向がある。人は、自分の持っている技能や能力が活かされ、価値観や態度を表現でき、自分の納得できる役割や課題を引き受けさせてくれるような環境を求めている。実際は人間には多種多様なタイプがいるが、6つに分類することで職業選択の際のヒントに活用できる」と考えたわけである。

職業レディネス・テストは、その6類型及び3つの志向性の尺度を用いて、職業興味、自信、日常生活の興味の特徴を把握するテスト(下表参照)。

●美咲さんの結果を見てみると

美咲さんの興味の強いタイプは、①Rタイプ(機械を使ったりものを作る仕事)、②Aタイプ(音楽や美術、文芸など芸術的な仕事)、③Iタイプ(考えたり研究する仕事)の順。R、Aは

●職業興味と自信

<b>R</b>	現実的職業領域	機械や物体を対象とする具体的で実際のな仕事や活動の領域
<b>I</b>	研究的職業領域	研究や調査のような研究的、探索的な仕事や活動の領域
<b>A</b>	芸術的職業領域	音楽、美術、文学等を対象とするような仕事や活動の領域
<b>S</b>	社会的職業領域	人と接したり、人に奉仕したりする仕事や活動の領域
<b>E</b>	企業的職業領域	企画・立案したり、組織の運営や経営等の仕事や活動の領域
<b>C</b>	慣習的職業領域	定まった方式や規則、習慣を重視したり、それに従って行うような仕事や活動の領域

●日常生活の興味(基礎的志向性)

<b>D</b>	対情報関係志向	各種の知識、情報、概念などを取り扱うことに対して、個人の諸特性が方向づけられていることを示す。
<b>P</b>	対人関係志向	主として人に直接かかわっていくような活動に対して、個人の諸特性が方向づけられていることを示す。
<b>T</b>	対物関係志向	直接、機械や道具、装置などのいわゆるモノを取り扱うことに対して、個人の諸特性が方向づけられていることを示す。

得点が85点以上と、他の高校生と比較してもかなり高い。

自分の手で材料を使ってケーキを作り上げたり、料理をするのが好きということが、Rタイプの高さに表れている。また、いろいろなケーキを食べ比べたり、デコレーションを研究し(Iタイプ)、視覚的・造形的にきれいなケーキを仕上げようとする(Aタイプ)という美咲さんの他の側面も結果に表れている。

興味の強いタイプへの自信は強く、総じて興味と自信に大きな差が出ていない。これは、美咲さんが家でケーキ作りをしているように、今まで自分の興味のあることを実際に経験してきたからと考えることもできそうだ。

日常生活での興味のタイプでは、①物(機械や道具などの物を扱う活動)、②情報(知識や情報、データに関わる活動)、③人(人と直接関わる活動)の順に興味が高い。くわしく見てみると、特に「物をつくりたい」という気持ちが強くと表れていて、その興味が活かせる職業例として「パティシエ」も表示されている。

●幅広く職業について知ろう

美咲さんは高校1年生なので、まだ発達の過程にあり、これからの学校生活や家庭生活での様々な経験で、興味の方向性が変化する可能性も含んでいる。パティシエだけに限定したり、固定的に考えたりせずに、より広い視野で職業を考えていく姿勢を持っていくのもよいだろう。